

2012年7月6日

報道関係者各位

「くすりのしおり[®]」英語版の作成数増加推移を学会発表

くすりの適正使用協議会(理事長:黒川 達夫)は、薬剤師と患者さんのコミュニケーションの向上、さらに患者さんと医療従事者とのコンコダンス*の実現が円滑に行われることを目指して「くすりのしおり[®]」を作成し、これまでに調剤薬局や病院・診療所等の医療機関に提供してまいりました。この度、「くすりのしおり[®]」英語版が作成開始から10年間で1,656件に達したことを、第15回日本医薬品情報学会総会・学術大会(近畿大学東大阪本部キャンパス/東大阪市:2012年7月7~8日)で発表することになりましたので、お知らせします。

「くすりのしおり[®]」日本語版は、これまでに医療用医薬品の約70%に当たる約11,000件(141社)が作成され、2006年より外部へのデータ導出が行われており、薬歴管理システムやレセコンの他、(独)医薬品医療機器総合機構などの医薬品ポータルサイト等で利用されてきました。

一方、「くすりのしおり[®]」英語版は、2003年に1社13件で作成を開始し、10年間で45社1,656件まで漸増しました。英語版の利用用途としては、企業の相談室に寄せられた声として「患者さんが渡航する際に必要としている」という理由が44%を占めており、また2011年1月には医療滞在ビザが新設されており、日本で医療を受ける外国の患者さんへの対応に役立つことが期待されます。

くすりの適正使用協議会では、対象患者数が多い医薬品を中心に、今後も英語版を作成していく予定です。

*コンコダンス:患者さんと医療従事者がパートナーシップを構築し、コミュニケーションを取りながら薬を決定し服用すること。

くすりの適正使用協議会:

くすりの適正使用協議会は、医薬品に関する様々な情報を提供することを通じ、“医薬品を正しく理解し用いることを通じて、人の健康保持とQOLの向上に寄与すること”を目的に、1989年に研究開発指向型製薬企業11社によって設立されました。(現在 会員会社19社、個人会員2名)

創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり[®]」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。

2012年度からは、社会で“個々のニーズに合った医療の高度化”が求められていることを念頭におき、新たな行動計画を策定しました。キーコンセプトを「医薬品リテラシーの育成と活用」と定め、医療専門者と国民双方に安全で品質の優れた医薬品使用、延いては医療確保ができる価値を創造し続ける活動を行っています。

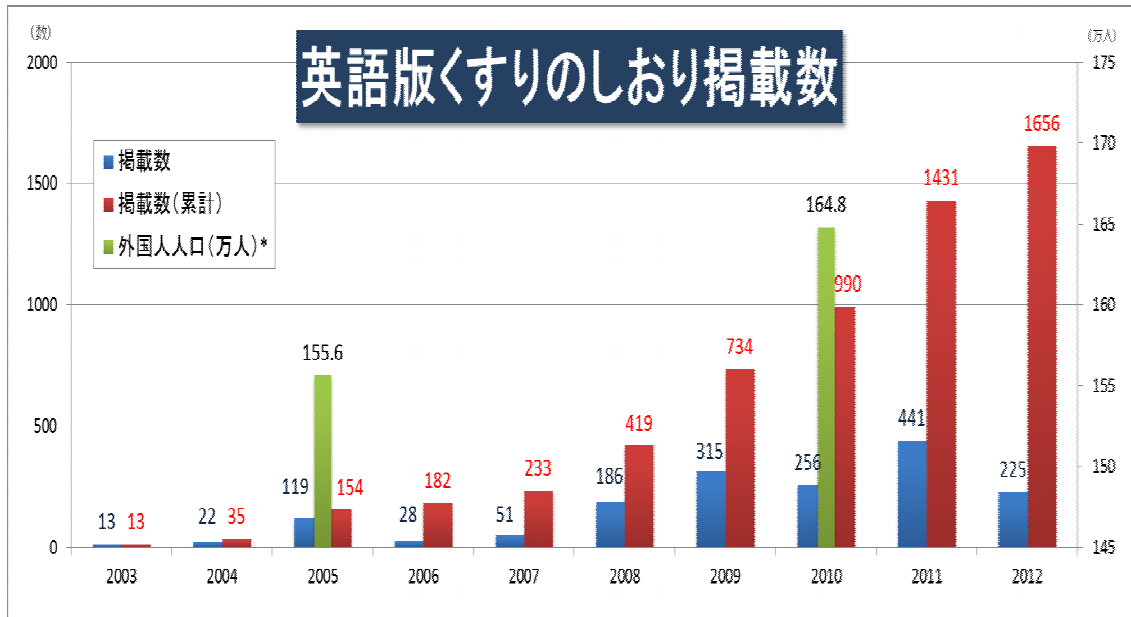
協議会ホームページ: <http://www.rad-ar.or.jp> くすり教育ホームページ: <http://www.rad-are.com/>

<会員社一覧>

アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) エーザイ(株) MSD(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株)
協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株)
武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 日本新薬(株) ノバルティス ファーマ(株)
ノボ ノルディスク ファーマ(株) Meiji Seika ファルマ(株) (19社)

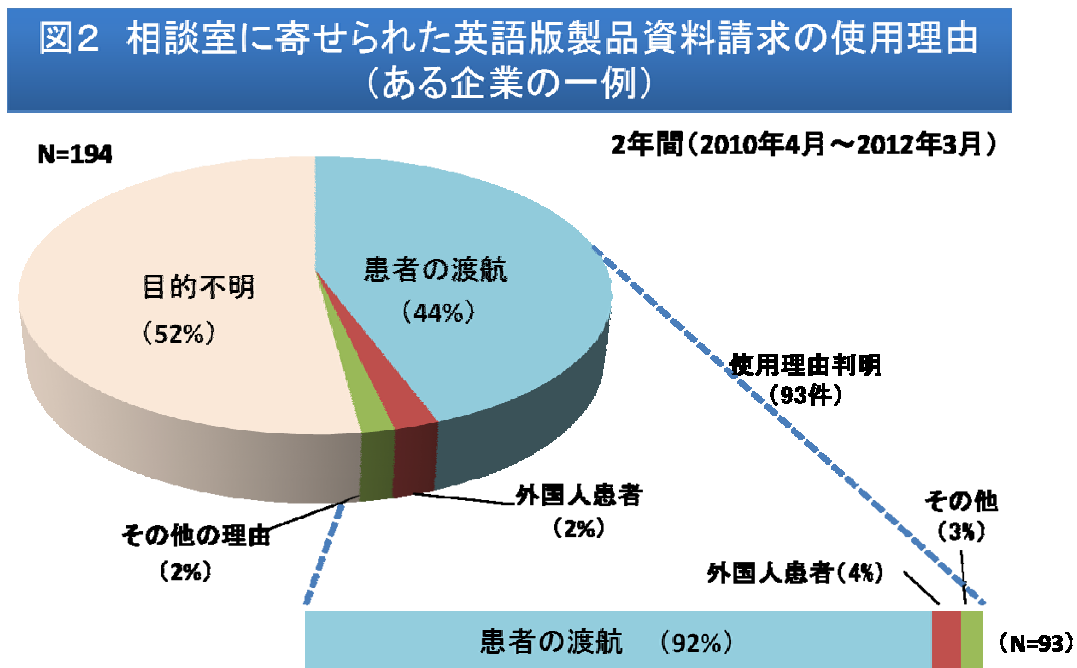
参考資料

図1: 英語版掲載数



* 総務省統計局. グラフでみる我が国の人口・世帯. 2010.

図2: 企業の相談室に寄せられた英語版使用理由



【お問い合わせ先】

くすりの適正使用協議会 広報部 谷村、梅田
 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-2 日本橋 Nビル 8 階
 TEL/03-3663-8891 FAX/03-3663-8895
 E-mail: info@rad-ar.or.jp URL: http://www.rad-ar.or.jp/